２０２６年度入学試験　「小 論 文」 問 題 用 紙

今、すべての小・中・高等学校において、学習評価の新しい規準として「知識・技能」「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点が定められ、授業が行われています。

また、大学卒業者に最も期待する資質と能力として、表１のように、全国の８割以上の企業が「主体性」を挙げています。

表１「採用と大学改革への期待に関するアンケート調査結果」

（2021.1.18 一般社団法人　日本経済団体連合会）

著作権の関係で、この部分は非公表としています。

このように、今、世の中は、主体性の有無によって評価される時代になっていると言っても過言ではありません。

しかしながら、この「主体性」とは極めて曖昧な言葉です。そのため、それぞれの人が、それぞれの立場で「主体性」という言葉を使っているのが現実です。したがって、これから大学で学ぼうとしている皆さんは、自分が考える主体性と企業が求める主体性の差異を理解した上で、大学での学修に取り組まなければなりません。

そこで、企業に勤める管理職を対象としたインタビューに基づいて「企業が求める主体性」について述べた別添の課題文を読み、その内容を踏まえて、あなた自身が育みたい「主体性」とはどのようなものか、また、それを４年間の大学生活でどのように育むか、あなたの考えを 1000 字以内で述べなさい。

小論文試験「課題文」

（武藤浩子著　ちくま新書「主体性はなぜ伝わらないのか」より抜粋）

著作権の関係で、この部分は非公表としています。